

2024年度 学習指導計画表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：音楽Ⅰ〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：高校生の音楽①〕〔使用副読本：Music Navigation〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内容	ページ	ページ
前期	1	日本の伝統音楽、民謡	日本の伝統音楽の特徴を知り	p60~67	p42,43
		楽典（音名）	鑑賞を通して日本文化を学ぶ。	p140~143,150	p65~67
	2	歌唱、楽典（記譜法、写譜）	「校歌」の歌唱。記譜の方法を学ぶ。	p150	p64,65,ナビ
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	3	歌唱（ドイツ歌曲）	Die Lindenbaum	p40,41	
		楽典（楽語）	楽語を理解する。	p153	p97~100
	4	楽典（音階、音価）	音階と調、音価を学ぶ。	p150	
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	5	鑑賞	クラシック音楽の名作の聴き方を学ぶ。	教員が選曲	
	6	楽典（拍子）	様々な拍子の数え方と標記方法を学ぶ。		
		器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲	
	7	西洋音楽史①	バロック時代、古典派の音楽を学ぶ。	p128~133	p8~19
8	楽典（コードネーム）	和音とコードネームを学ぶ。	p156,157	p86~90	
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲		
9	西洋音楽史②	ロマン派、近現代の音楽を学ぶ。	p134~137	p20~37	
10	創作	拍子を理解して作曲する。			
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲		
11	オペラ鑑賞	La traviata	p44~45		
12	世界の民族音楽	世界の民族音楽から異文化理解を深める。	p54~59		
	器楽実習	アルトリコーダー、ハンドベル他	教員が選曲		

レポート			
前/後	回	課題内容	締切日
前半	1	日本の伝統音楽（歌舞伎）	5/9
		日本音名	
		民謡	
	2	写譜	
		音価	
3	ドイツ歌曲		
	Die Lindenbaum		
後半	4	鑑賞	6/6
	5	西洋音楽史	
		作曲	
6	アルトリコーダー運指		
	世界の民族音楽		
	（インドネシア）		
	コードネーム		

2024年度 学習指導計画表

京都長尾谷高等学校

[科目名 : 美術 I] [単位数 : 2単位] [使用教科書 : 高校生の美術 I] [使用副読本 : なし]

	授業回	項目	教科書		副読本	レポ ー ト			
			内 容	ページ	ページ	前/後	回	課 題 内 容	締切日
前	1	模写デッサン	鉛筆の表現。 グラデーションを描く。	p132~135		前 半	1	デッサン基礎	5/9
	2	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き 写す。立方体を描く。	p132~135				「5段階のグレースケール」 陰影・中間色の表現	
	3	模写デッサン	写真を見ながらスケッチブックに描き 写す。幾何形態を描く。	p132~135					
	4	レタリング	文字のプロポーショナルを学ぶ。 骨格、エレメントなど。	p149			2	レタリング 「永」 明朝体 デザインの基礎	
	5	レタリング	和文字とアルファベットの違いを学	p149					
	6	レタリング	明朝体とゴシック体の違いを学ぶ。	p149			3	水彩「屋内の風景」 水彩技法 パースの概念	
期	7	色彩構成	色の3原色を使い、混色を学ぶ。 黄←→青、赤←→青、黄←→赤	p152~154		後 半	4	デッサン 「立体感の表現」球体を描く タッチの概念 光源の意識	6/6
	8	色彩構成	2色以上の色を混ぜて混色と色彩調和を 学ぶ。色彩構成、平面構成	p152~154					
	9	色彩構成	3色以上の色を混ぜて混色と色彩調和を 学ぶ。色彩構成、平面構成	p152~154					
	10	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役 割を理解し、具体的な形に表現する。	p76,77			5	ピクトグラム 「クラブ活動」 コンセプトを立てる 要素の引き算	
	11	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役 割を理解し、具体的な形に表現する。	p76,77					
	12	デザイン	マークやピクトグラム（絵文字）の役 割を理解し、具体的な形に表現する。	p76,77				6	

2024年度 学習指導計画表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：書道Ⅰ〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：東京書籍〕〔使用副読本：高校硬筆の練習〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内容	ページ	ページ
前	1	楷書の学習	欧陽詢の整然として隙がない楷書を臨書する。	p16~33	
	2	九成宮醴泉銘	楷書の特徴と唐の四大家について学	p22~23	
	3	行書の学習	行書の特徴を理解し、用筆法を学ぶ。	p38~57	
	4	風信帖	空海について学ぶ。 文字の配置に気を付けて、臨書する。	p52~57	
	5	隸書の学習	隸書の特徴を理解する。 臧鋒、波磔などの用筆法を学ぶ。	p62~65	
	6	曹全碑	曹全碑を臨書する。	p64~65	
期	7	仮名の学習	仮名の成り立ちを学ぶ。 いろは歌	p76~85	
	8	蓬菜切	蓬菜切を臨書する。	p86~87	
	9	漢字の書の創作	古典の臨書や鑑賞を通して身に付けた方法をもとに、漢字の書の制作をする。	p70~73	
	10	創作	草稿を作り、練習して作品にまとめ		
	11	漢字仮名交じり文	自分の表現を目指して、制作の意図に応じて、工夫する。	p106~123	
	12	創作	これまでに学んだ名筆の表現を生かし創作する。		

レポート			
前/後	回	課題内容	締切日
前 半	1	「清泉」	5/9
	2	「風信雲書」	
	3	ペン字教本 原稿用紙の書き方を学ぶ	
後 半	4	「世紀」	6/6
	5	「おほぞらに むれたつ ~かな」	
	6	漢字の成立と変遷 中国と日本の書家	